

2015年10月6日

森トラスト株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17

虎ノ門2丁目タワー

お問い合わせ先: 広報部

TEL 03-5511-2255 FAX 03-5511-2259

URL <http://www.mori-trust.co.jp>

都市を託される責任。



PRESS RELEASE

同時発表： 国土交通記者会
国土交通省建設専門紙記者会

ラフォーレホテルズ&リゾーツ 日本の主要リゾート地で展開する7ホテルで大規模リノベーション 今後3年間で投資総額 約160億円(対象客室 約1000室)

森トラスト株式会社(本社：東京都港区 社長：森 章)は、日本を代表するリゾート地10エリアで展開しているホテル「ラフォーレホテルズ&リゾーツ」のうち、『総合リゾートホテル ラフォーレ修善寺(ホテル棟)』・『総合リゾートホテル ラフォーレ琵琶湖』・『リゾートホテル ラフォーレ南紀白浜』・『リゾートホテル ラフォーレ山中湖』・『ラフォーレ倶楽部 ホテル中軽井沢』・『ラフォーレ倶楽部 ホテル白馬八方』・『ラフォーレ倶楽部 伊東温泉 湯の庭(第2期)』の7ホテルについて、2018年までの完成を目指し、今後3年間で投資総額約160億円(対象客室数約1000室)の大規模リノベーションを計画することになりましたので、お知らせいたします。

森トラストグループは、観光産業を今後の日本の成長分野と捉え、「地方創生」、「ライフスタイルの変化への対応」、「インバウンド需要拡大への対応」を目指し、新規ホテルの開発や既存ホテルのリノベーションなど、ホテル事業を積極的に展開しています。

ホテルのリノベーションとしては、2012年より第一弾として、『東京マリオットホテル』や修善寺・伊東・箱根強羅のホテルを手掛けており、2015年11月2日には新大阪駅近接のホテルを『コートヤード・バイ・マリオット 新大阪ステーション』としてリブランドオープン予定です。

今般、第二弾として、今後3年間で投資総額約160億円をかけ、7施設合計約1000室のリノベーションを行う計画です。これにより、当社グループが手掛けるホテルのリノベーションは、2012年から2018年にかけての7年で、投資総額約240億円(対象客室数約1700室)となります。

今回のリノベーションでは、日本の観光資源として国内外から注目されている「温泉」を全施設で積極的に活用し、富士山や海・湖・雪など、その地ならではの絶景を臨める温泉風呂付客室を、7施設の対象客室の半数以上に導入する予定です。また、宿泊年齢層の広がりに対応した設備・内装のリニューアル、ペット同伴可能な客室の増設など、ライフスタイルの多様化に対応した大規模なリノベーションを実施することで、ラフォーレ倶楽部[※]会員をはじめとする利用者の満足度向上を図るとともに、年々増加する外国人観光客の都心および地方リゾート地への回遊促進を目指しています。

当社グループは、都心部における宿泊機能強化に資する都市開発を行うとともに、今後はリゾート地での宿泊機能の一層の充実・強化を図ることで、国内外の観光需要を地方まで広げ、観光による地方創生や観光産業全体の発展に寄与することを目指して、多面的にホテル&リゾート事業を展開してまいります。

今回のリノベーション対象施設



『総合リゾートホテル ラフォーレ修善寺 (ホテル棟)』
(静岡県伊豆市)



『総合リゾートホテル ラフォーレ琵琶湖』
(滋賀県守山市)



『リゾートホテル ラフォーレ南紀白浜』
(和歌山県白浜町)



『リゾートホテル ラフォーレ山中湖』
(山梨県山中湖村)



『ラフォーレ倶楽部 ホテル中軽井沢』
(長野県軽井沢町)



『ラフォーレ倶楽部 ホテル白馬八方』
(長野県白馬村)



『ラフォーレ倶楽部 伊東温泉 湯の庭 (第2期)』
(静岡県伊東市)

※ ラフォーレ倶楽部

森トラストグループが所有・運営するラフォーレホテルズ&リゾートの優先利用権を、法人契約にて多数の企業と共有する、日本最大級の法人会員制倶楽部。

現在、優良企業を中心に利用対象法人約 30,000 法人、約 1,000 万人の会員ネットワークを構築。

以上

■森トラストグループのホテル事業について

森トラストグループは、日本のリゾート地の個性や魅力創りを目指し、「ハードリノベーション、ソフトリノベーション」を次世代の戦略テーマに据え、新たな宿泊施設の開発や既存施設のリノベーション、新しいレジヤープログラムや商品開発を積極的に展開しています。

2012年以降、シティホテルでは『東京マリオットホテル』、リゾートホテルでは『ラフォーレ修善寺 山紫水明』・『ラフォーレ倶楽部 伊東温泉 湯の庭 (第1期)』・『ラフォーレ倶楽部 箱根強羅 湯の棲』を手掛けてきたほか、新大阪駅近接の『ホテルラフォーレ新大阪』を全館リノベーションし、『コートヤード・バイ・マリオット 新大阪ステーション』(2015年11月2日開業予定)へとリブランドする予定です。

今般、新たにリゾートホテル7施設で大規模リノベーションを推進することにより、日本の主要リゾート地の魅力創造に一層貢献していくことを目指します。

■過去のリノベーション実績

1. リゾートホテルのリノベーション

『ラフォーレ修善寺 山紫水明』(静岡県伊豆市)

『総合リゾートホテル ラフォーレ修善寺』内のコテージ 2棟を、全室から雄大な富士山を一望できる温泉露天風呂付湯宿としてリノベーションを実施。

2012年8月に1棟目16室、2014年12月に2棟目16室をオープン。



『ラフォーレ倶楽部 箱根強羅 湯の棲』(神奈川県箱根町)

『(旧)リゾートホテル ラフォーレ強羅』を全面的にリノベーションし、温泉露天風呂付客室の新設や、ロビー、レストランなど全館にわたって、「和」の要素をモダンに昇華させたデザインに一新。

2014年4月にリニューアルオープン。



『ラフォーレ倶楽部 伊東温泉 湯の庭』(静岡県伊東市)

『(旧)リゾートホテル ラフォーレ伊東』の共用部をリノベーションし、足湯テラスや湯上がりラウンジの新設、エントランスに囲炉裏を配し、和食レストランに「かまど」を設けるなど、「ジャパニーズモダン」をコンセプトに施設・デザインを一新。

2013年7月にリニューアルオープン(第1期)。

今般、第2期の客室リニューアルを計画。



2. シティホテルのリノベーション

『東京マリオットホテル』(東京都品川区)

2013年12月に、『(旧)ホテルラフォーレ東京』を、『東京マリオットホテル』としてリブランドオープン。

羽田空港の国際空港化に伴い、日本の玄関口と東京都心部との結節点として外国人観光客から注目が高まる品川駅に近接する地に、世界一の会員数を持つ国際ホテルブランドを誘致。

マリオットブランドの持つ世界レベルの品質をベースに、江戸時代より桜の名所として親しまれ、明治以降は多くの富豪が邸宅を構えた品川・御殿山の歴史と品格を融合した設備・デザインへと、全館にわたるリノベーションを実施。



ホテルエントランス

ラウンジ&ダイニング G

客室 (デラックスツイン)

『コートヤード・バイ・マリオット 新大阪ステーション』(大阪府大阪市)

2015年11月2日に、『ホテルラフォーレ新大阪』を、『コートヤード・バイ・マリオット 新大阪ステーション』としてリブランドオープン予定。

東海道新幹線の関西における玄関口である新大阪駅近接地に、世界最大級の施設数(現在38か国、1000以上の都市に展開)を誇る「コートヤード・バイ・マリオット」ブランドを誘致。

全332室の客室は30㎡~90㎡というゆとりある広さを確保し、モダンなインテリアデザインの中に広めのライティングデスクを設えるなど、ビジネス利用にも配慮した機能的な空間を提供。ホテル内には、3店舗のレストラン&バー、会議施設、フィットネスジムなど、リフレッシュな滞在のための施設のほか、現代のビジネストラベラーのライフスタイルをサポートする最新技術のモバイル環境を備える。



ホテル外観 (イメージ)

フロントロビー (イメージ)

客室 (イメージ)